

「地域に根差したチームオンコロジーセミナー2020」

～“顔が見える”チームで行う全人的地域連携～



開催日程: 2020年11月15日(日) 9:00 am - 17:00 pm

開催場所: オンライン(ZOOM)を活用して

【セミナーの到達目標】 患者に関わる全ての人々によるチームで、患者中心のがん診療を行うために必要な知識とスキルを多職種で共有し、連携実践の基礎をつくる

がん医療に携わる医師、薬剤師、看護師、歯科医師、栄養士、ソーシャルワーカーなどが、チームとなって行うべきがん医療、地域連携について、参加型セミナーを通じて、全員が理解を深め、実践できるようになるための知識とスキルを身につけることを目指します。

プログラム

※スケジュールは多少の変更の可能性がありますことご了承ください。

オープニング・基調講演

9:00 - 10:00

1. オープニングリマックス

四国がんセンター 乳腺外科 青儀 健二郎

2. 「チーム医療を推進するためのリーダーシップ、シェアードビジョン」

テキサス大学MDアンダーソンがんセンター腫瘍内科教授 上野 直人

セッション1 Educational Solution Seminar

10:00 - 13:00

1-1 課題定義とパネルディスカッション

「地域医療におけるチーム医療の意義」

愛媛県在宅緩和ケア推進協議会 副会長 吉田 美由紀

八幡浜医師会居宅介護支援事業所 清水建哉、今治おかもと薬局 岡本 ひとみ

1-2 講演と課題検討

テーマ(案): 「チームで行うがん治療マネジメント～地域連携の活用と全人的ケア」

1) 副作用(分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬などの副作用マネジメント、多職種連携を含めて)

共 催: 日本イーライリリー株式会社、小野薬品工業株式会社、中外製薬株式会社

2) 高齢者(高齢者の化学療法、緩和医療、副作用マネジメント)

共 催: エーザイ株式会社、第一三共株式会社、協和キリン株式会社

ランチョンセミナー

13:00 - 13:30

「リキッドバイオプシーによる乳がん診断の可能性」 共催: 東レ株式会社

座長: 愛媛大学医学部附属病院乳腺センター センター長 亀井 義明

演者: 国立国際医療研究センター乳腺腫瘍内科 下村 昭彦

セッション2 Lecture, Group Work and Discussion

13:30 - 17:00

1. 講演: 「自己理解・他者理解を深め、よりよいチーム医療を実践する」 鳥取大学医学部附属病院 陶山 久司

2. グループによる課題検討 3. グループ発表 4. 総合ディスカッション 5. クロージング リマックス

【募集要項】

対 象: がん医療に携わる医師、薬剤師、看護師、歯科医師、栄養士、MSWなどの医療従事者
30名程度 ※なお、J-TOP会員になることが参加条件となりますこと、ご了承ください。

参加費: 5,000円

申込受付期間: 2020年 8月28日(金)～10月9日(金)

申込受付登録: 右記QRコードからご登録ください。

または、下記サイトの登録用 URLからご登録お申込みください。

<https://www.teamoncology.com/seminar/seminar/2020>

締め切り: 2020年10月9日(金)

※応募者多数の場合は、申し込み順、職種、地域などを考慮して選抜させていただきます。

参加の可否については改めてご連絡させていただきます。



共 催: 一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクト、松山大学薬学部

後 援: 愛媛県医師会、松山市医師会、愛媛県病院薬剤師会、愛媛県薬剤師会、愛媛大学附属病院腫瘍センター

愛媛県看護協会、四国がんセンター、愛媛県歯科医師会、愛媛県医療ソーシャルワーカー協会、愛媛県理学療法士会